

2020年度(令和2年度)生産額見通し(総括表)

我が国の2020年度(令和2年度)の機械工業生産は、新型コロナウイルス感染症により、需要・供給両面で大きな影響が出ており、リーマンショック以来の厳しい状況になると見込まれる。上期は特に自動車を中心に輸送機械の生産が大きく減少し、全体の生産額は前年度15.3%減になると見込まれる。一方、下期は自動車の回復と、5G向けをはじめとした情報通信機械、電子部品・デバイスの生産増加が期待され、前年度比5.5%減まで回復するものと見込まれる。従って、2020年度全体としての機械工業生産額は、前年度比10.4%減の65兆3704億円となる見通しである。この生産額は、2頁に示すように、リーマンショック翌年(2009年)の生産額(約61兆円)を上回るものの、2013年度以来の70兆円割れの生産額で、東日本大震災翌年(2012年)の生産額(約65兆円)とほぼ同等である。なお、先行き不透明感が強い品目もあり、新型コロナウイルスの影響が生産額見通しに反映されていない品目もある。機械工業の機種別の生産動向は3頁を参照されたい。

(単位:百万円、%)

業 種 分 類	生 産 額								前年度(同期)比			
	2018年度 (平成30年度) 実 績	2019 年 度(令和元年度)			2020 年 度(令和2年度)			2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2020年度 (令和2年度) 上 期	2020年度 (令和2年度) 下 期	
		上期実績	下期実績	年度実績	上期見通し	下期見通し	年度見通し					
機 械 総 合 計	76,446,537	36,481,250	36,463,455	72,944,705	30,895,702	34,474,649	65,370,351	95.4	89.6 (10.4%減)	84.7 (15.3%減)	94.5 (5.5%減)	
機械計(除、金属製品、鋳鍛造品)	70,659,735	33,719,263	33,696,625	67,415,888	28,556,228	31,971,917	60,528,145	95.4	89.8	84.7	94.9	
一 般 機 械	16,361,616	7,660,255	7,481,986	15,142,241	6,968,906	7,214,439	14,183,345	92.5	93.7	91.0	96.4	
電 気 機 械	7,969,263	3,795,101	3,883,518	7,678,619	3,726,599	3,941,977	7,668,576	96.4	99.9	98.2	101.5	
情 報 通 信 機 械	2,970,268	1,503,144	1,505,254	3,008,398	1,533,743	1,592,488	3,126,231	101.3	103.9	102.0	105.8	
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス	7,650,794	3,217,755	3,401,510	6,619,265	3,106,122	3,652,476	6,758,598	86.5	102.1	96.5	107.4	
輸 送 機 械	34,168,685	16,828,410	16,690,446	33,518,856	12,567,408	14,861,971	27,429,379	98.1	81.8	74.7	89.0	
精 密 機 械	1,539,109	714,598	733,911	1,448,509	653,450	708,566	1,362,016	94.1	94.0	91.4	96.5	
金 属 製 品	3,018,224	1,426,228	1,484,673	2,910,901	1,349,084	1,350,820	2,699,904	96.4	92.8	94.6	91.0	
鋳 鍛 造 品	2,768,578	1,335,759	1,282,157	2,617,916	990,390	1,151,912	2,142,302	94.6	81.8	74.1	89.8	

- (注) 1. 一部の機種は暦年ベース。
2. 一部推定値を含む。